

2025年度 ル・ソラリオン名和 事業計画

ル・ソラリオン名和
グループホームやまと

1. 施設理念

名和：「ともに考え、ともによろこぶ暮らしの実現」

やまと：「住み慣れた地域で、出来る事を共に喜び合う愛あふれるグループホーム」

2. 施設方針・テーマ『地域に開かれた魅力ある事業所づくり』

- (1) 安心して心地よく暮らせるような思いやりのあるサービスを提供します。
- (2) 個々の状態に応じた幅広いサービスを提供します。
- (3) コンプライアンスを徹底し、健全な施設運営を実施します。
- (4) 在宅支援の充実を図り、高齢者にやさしい地域づくりの一翼を担います。
- (5) チームの一員として共に支えあい、働きやすい職場環境を構築します。

3. 実施事業

- | | |
|-------------------------------|---------|
| (1) 介護老人福祉施設 | 定員 70 名 |
| (2) ショートステイ（介護予防含む） | 定員 18 名 |
| (3) ケアハウス | 定員 15 名 |
| (4) 通所介護サービス | 定員 35 名 |
| ・大山町介護予防・日常生活総合事業（通所型サービス） | （定員に含む） |
| (5) 大山町介護予防・日常生活総合事業（元気アップ教室） | 定員 14 名 |
| ・介護認定非該当者対象事業（元気道場） | （定員に含む） |
| (6) 居宅介護支援センター | |
| (7) 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） | 定員 18 名 |
| ・短期利用認知症対応型共同生活介護 | |

4. 重点目標

〔抱負・目標〕

住み慣れた地域での生活が続けられるよう、各事業所において対象者にマッチした特色のあるサービスを提供します。地域の状況とタイムリーに向き合い、社会福祉施設が持てる力を最大限に発揮していきます。

地域に存在し続ける施設であるために、サービスのブラッシュアップを図り、多職種が協働して「個々の描く暮らしへのサポート」を行うことで、魅力ある事業所づくりを進めていきます。

また、職員が広い意味でのリスクマネジメントの視点を持つことが、安心・安全な施設運営の基礎となると考え、自然災害及び感染症対策・働き手の確保等、施設の労働環境及び組織体制を整えていきます。

(1) 人財育成と職場定着

- ① 専門スキルの向上：e-ラーニング研修を活用し、受講実績から専門職としての力量評価に繋げる。
- ② 次世代リーダーの育成：リーダー研修を行い、リーダーとしての資質やチームの課題を共通認識し、チームケアの向上を図る。広い視野を持つため、施設間交流を行う。
- ③ 教育指導体制の構築：新入職員及び中途採用職員の教育計画に基づいた指導を実施。
- ④ 生産性向上への取り組み：業務や仕組みを見直し不要な時間外労働を削減する。業務効率と質の維持が可能となる ICT 機器導入の検討。

(2) 利用者へのサービス提供（顧客満足・質の向上）

- ① ケアプランの充実：アセスメント・モニタリングの強化により生活の質の向上を目指す。
 - ・『私シート』を活用し QOL 向上につなげる。
 - ・アセスメントから個別性をふまえた目標立案し、適切なケアマネジメントで目標達成を目指す。
- ② 多職種連携で行う自立支援：「生きる喜びを共に感じるケア」を提供する。
 - ・チームケア（リハビリ・栄養管理・口腔管理の一体的実施）を推進し重度化を防止する。
 - ・認知症ケアにおいて、全職員が標準的ケアを実践でき、地域や施設での生活が安心につながる質を担保する。
 - ・各専門職が切磋琢磨し、その専門性において探求心を怠らない。
- ③ 医療・介護の複合ニーズへの対応：切れ目ない医療と介護サービスの提供。
 - ・地域・個々の利用者ニーズに応え、望む暮らしに向けた連携を図る。
 - ・障がい者施設入所者の高齢化に伴う介護連携。

(3) リスク対策（感染・安全・災害等）

- ① ご意見・苦情からのサービス改善
- ② 現場で想定されるリスク（事故・感染・苦情）の迅速な対応と分析力向上を図る。
- ③ ハラスメントへの対応力向上
- ④ 災害リスク対策の確実な実施をする。
 - ・地震・火災・台風・大雪等に備えた備品の確保、設備の確認。
 - ・施設内・地元地域・関連施設との連携を行い、様々なパターンの訓練を行う。

(4) 施設・設備整備

- ① 計画的な設備・備品点検・修繕管理と不具合時の即時対応を行う。
- ② 空調設備の老朽化に伴い設備更新への計画・実施を行う。

(5) 地域連携・社会貢献

- ① 地域貢献活動：介護予防や認知症の人を支える地域活動への参加（専門職が地域住民参加の場での講師として活動）。
- ② 地域交流：ボランティア交流、カフェ、地域行事への参加。

(6) 経営管理

- ① 新規申込者を増やす：「安定した事業所」を目指し、丁寧な相談体制を確立し、関係機関との信頼関係を構築する。居宅による地域向け介護相談、デイサービスの体験利用、特養やショート向け施設見学会など事業所を地域に向け開放する機会を増やす。
- ② 在宅利用者サービスの強化：予算目標達成に向け、選ばれる事業所作りへ施設全体で取り組む。
- ③ 収支予算の適正管理：質の向上と経営の安定の両輪に向けた取組を行う。

数値目標

事業名	目標件数	目標稼働率
介護老人福祉施設	68.0	97.1%
入院	2.0	
ショートステイ	15.5	86.1%
ケアハウス	15.0	100.0%
グループホームやまと	17.8	98.9%
デイサービス	27.0 (22/5)	91.5%
居宅介護支援	60.0	68.2%